

公益社団法人日本地球惑星科学連合
2021年度(令和3年度)第5回理事会議事録

1. 開催日時 2022年1月31日(月) 13:00-16:35

2. 開催場所 Zoomによるオンライン会議

3. 出席者 理事数 20名
出席理事 16名 (定足数11名 会議成立)

4. 議長 理事 田近 英一

5. 出席役員

理事 田近 英一
理事 川幡 穂高
理事 ウォリス サイモン
理事 小口 千明
理事 高橋 幸弘
理事 道林 克禎
理事 日比谷 紀之
理事 浜野 洋三
理事 阿部 なつ江
理事 沖 大幹
理事 掛川 武
理事 木村 学
理事 中村 昭子
理事 西 弘嗣
理事 村山 泰啓
理事 吉田 尚弘
監事 春山 成子

6. 出席オブザーバー

大気水圏科学セクションバイスプレジデント 東塚 知己
地球人間圏科学セクションプレジデント 鈴木 康弘
固体地球科学セクションプレジデント 田中 聡
地球生命科学セクションプレジデント 遠藤 一佳

地球生命科学セクションバイスプレジデント	磯崎 行雄
地球生命科学セクションバイスプレジデント	小林 憲正
大会運営委員会委員長	和田 浩二
ダイバーシティ推進委員会委員長	坂野井 和代
情報システム委員会委員長	興野 純
学協会長会議議長	林田 佐智子
事務局長	末廣 潔

午後 1 時 00 分、定数に達したので田近英一会長が開会を宣言した。インターネット会議システム Zoom を利用し、審議において参加者全員が互いに適時的確な意見表明ができることを確認した。

7. 審議事項

第 1 号議案 新入会員承認の件

- ・定款第 8 条 2 項の会員の入会の定めに従い、新規入会者の入会を審議し、これを承認した。

第 2 号議案 新規委員承認の件

- ・ジャーナル編集委員会の新規委員を承認した。

第 3 号議案 事務局長承認の件

- ・末広潔事務局長の契約を更新することを審議し、承認した。契約は2年間とする。
- ・なお、事務局は継続してテレワーク勤務としているが、長期間にわたっているため、来年度以降、恒常的にテレワーク体制とするかなどを検討していく予定である。

第 4 号議案 その他

- ・日比谷理事より緊急動議があり、日本学術会議公開シンポジウム「活動域縁辺域における洋上風力開発に向けて」との共催を審議した。これを承認した。
- ・中村理事より緊急動議があり、2022 年度フェロー候補者について審議した。候補者推薦リストの通り承認した。ただし、今回から候補者が JpGU の倫理規則に違反していないことの確認を行うことになり、そのうえでフェローとして顕彰する。

なお、審査委員会からの申し送り事項として、フェローを全会員の 1%とするという申し合わせについて検討してほしいという件、および今後は現役世代の研究者も積極的にフェローに顕彰してゆきたいという 2 点の報告があった。

3. 報告事項

1. 田近 英一代表理事職務報告

- ・現在理事候補者選挙期間中であるとの報告があった。
- ・本日、特定寄附金の受付最終日であるとの報告があった。

2. 川幡 穂高理事(ジャーナル担当)職務報告

- ・川幡理事に代わって倉本編集長よりジャーナルの活動報告があった。
- ・PEPS の投稿・編集・出版状況について、報告があった。
- ・全体編集会議を開催し、利益相反ポリシーの整備について合意したことや査読者のデータベースについて要望があったことが紹介された。
- ・編集長会議を開催し、取り扱いの難しい論文への対応や利益相反ポリシーについての議論を行ったことが紹介された。

3. ウォリス理事(グローバル戦略担当)職務報告

グローバル戦略委員会の開催報告があった。

○AGU 参加報告

- ・AGU 主催の Global Geoscience Societies へ参加した。
- ・AGU-EGU-JPGU Greate Debate:The Role of Scholarly Societies in the Anthropocene に参加した。
- ・AGU Fall Meeting へ参加した。ハイフレックス形式で開催され、トラブルもあったが全体的には好印象であった。新型コロナ感染者も発生した。宿泊施設で感染した参加者が多いとの情報である。
- ・オンラインブースについては初日には問題が多数発生した。参加者とチャットする仕組みがなかった。

○Facebook の活用について

- ・Facebook のグローバル戦略委員会アカウントで情報発信をしている。日本語の方がもう少し活発になれば、大々的に宣伝する。

○IGC について

- ・引き続き韓国側に話し合いを打診しているが、返信がない。
- ・IGU の母体である IUGS の会長にも状況を報告済である。

○そのほか

- ・EGU の開催日程が延期され、JpGU と重複したことについて報告があった。海外に向け、特に時差を考慮すると、アジアやオセアニアなどに JpGU 大会参加を呼びかけていくことが重要である。
- ・ジャーナルへの投稿時に重複投稿の確認が求められるようになってきた。オンライン社会において、学会発表等を取り巻く環境が大きく変わっており、発表の在り方について再考が求められているという指摘があった。
- ・Global Geoscience Societies の Outreach TF で毎年 4 月 22 日に開催される Earth Day の委員選出があったという報告があった。

4. 小口 千明理事(ダイバーシティ担当)職務報告

- ・ダイバーシティ推進委員会の活動報告があった。
- ・男女共同参画学協会連絡会の若手支援事業に関連した、JpGU 若手支援 WG のキックオフミーティングを行った。
- ・NPO 法人「女子中高生理工系キャリアパスプロジェクト」に団体賛助会員として登録した。
- ・フィールドワーク時のハラスメント調査に協力し、メールニュースを配信した。
- ・賛助会員の株式会社テックオーシャンと共催で、1月27日に就活必勝講座を開催した。
- ・ダイバーシティ委員会のウェブサイトを立ち上げた。

5. 高橋 幸弘理事(SDGs 担当)職務報告

- ・SDGs関連のホームページの公開を予定している。コンテンツも募集する予定である。
- ・ユニオンセッションで SDGsに関するテーマを含む予定である。加えて Friends ブースでも企画を検討している。
- ・日本電気株式会社(NEC)が大口の寄附をしていただけそうであるとの報告があった。他にも寄附をいただけそうな話があれば知らせてほしい。
- ・大会時のスーパーレッスンを計画している。セクションに募集をしたところ、2件の提案があった。より多くの講座を開催したいので、引き続き募集している。

6. 道林 克禎理事(大会展示担当)職務報告

○展示について報告があった。

- ・展示場ホールに一般展示を30ブース以上設置する予定である。
- ・3月1日に受付開始の予定で準備を進めている。
- ・現地展示に加え、オンライン展示も募集する。
- ・オンライン大会のみになった場合は、現地展示を取りやめオンライン展示のみとなる。
- ・2月中に展示説明会を開催する予定である。

○危機管理マニュアルについて

- ・2022年大会用に危機管理マニュアルを更新する予定である。
- ・新型コロナウイルスのようなパンデミックを想定していなかったため、主としてそれを考慮する形になる予定である。

7. 日比谷 紀之理事(総務担当)職務報告

- ・後援したイベントについて報告があった。
- ・選挙の進行状況について報告があった。

8. 河宮 未知生理事(財務担当)職務報告

- ・財務委員会の活動報告があった。
- ・大会収支の見通しについて説明があった。

9. 浜野 洋三理事(大会運営担当)職務報告

- ・和田大会運営委員会委員長より大会準備報告があった。

○投稿状況について

- ・現時点で投稿完了が 249 件、途中が 162 件である。現地ポスターの希望を取った所、希望するが 99 件、規模しないが 154 件である。

○EGU との期間重複について

- ・EGU が会場側の理由で、開催期間が 5 月 23 日～27 日となり、JpGU と重複することになった。
- ・ジョイントセッションに対し相互ログインを可能とするなどの提案があったが、技術的に困難である。

○AGU について

- ・全体参加者 24,000 名、現地参加者約 10,000 名であった。
- ・2 回のワクチン接種を義務として、入場時接種証明を確認した。無料で PCR 検査を行った。約 90 名の感染者を確認したとのことであった。

○緊急スペシャルセッション

『気象津波の発生を伴ったトンガ海底火山噴火(仮)』の開催を準備している。

○会場について

- ・展示ホールのレイアウト案の報告があった。特設会場を設置し、口頭発表の会場の他、表彰式会場としても使用する。

○プラットフォームについて

- ・オンライン部分は Confit を使用する。

○口頭発表について

- ・現地あるいはオンラインから Zoom でライブ発表を原則とする。プレレコ動画のライブ再生も可とする。
- ・26 日に幕張メッセでハイブリッド開催のリハーサルを行ったところ、課題や注意点も見つかったが、開催可能であるという感触を得た。
- ・会場内ではハウリング防止のため、Zoom を用いることを禁止する。
- ・なお、オンライン参加者のみがチャットで盛り上がると会場が取り残されるので、配慮が必要であるとの指摘があった。

○ポスター発表について

- ・全ポスター発表は、Confit にポスター資料を掲示することを義務づける。
- ・現地ポスター会場のコアタイムは PM3 であるが、他の時間も有効活用してほしい。
- ・オンラインポスターセッションは Zoom のブレイクアウトルームを使用する。11:00 から 13:00 をコアタイムとする。

・Confit のセッションページには資料がアップロードされているので、それを利用したフラッシュトークをコアタイム冒頭で行っていただく。

○参加登録料について

・参加登録料については、現地開催ということで一般会員 22,000 円、院生/教員/シニアは 11,000 円とする。現地には参加せずにオンラインでの参加も可とするが、参加登録料の区別はしない。
・会員でない方が参加する際には、年会費を払っても正会員に入会して参加登録料を支払った方が安くなることを周知してほしい。なお投稿時に非会員として投稿すると、その後で正会員に変更はできないので注意が必要。

○大会参加方法

・大会参加登録開始は、現地開催の判断を待って 3 月下旬を予定している。
・参加登録後、Confit にログインできるようになるには最大 1 日程度の時間がかかるので注意。
・現地会場受付では参加登録できない。

○COVID-19 対策

・会場側と協力し、消毒・換気を行う。
・ワクチン接種済みであることを推奨する。
・不織布マスク推奨、受付時検温、アプリの活用などを予定している。

○完全オンライン開催移行について

・緊急事態宣言が出ることは必要条件であり、総合的に判断する。
・3 月下旬の参加登録受付までにオンライン開催移行が決断された場合には、現地会場のキャンセル料などを踏まえて大会参加登録料を見直す
・それ以降にオンライン開催移行となった場合も、会場キャンセル料が発生することもあり、参加登録料の見直しはできない。

○発表成立要件

・ポスター発表については投稿者が資料をアップロードすることを必須条件とする。

○発表資料取り扱いルール

・発表資料取り扱いルールとして、参加側、発表者側の注意点をまとめた。

○展示について

・出展者向けホームページを公開した。

○学生関連情報について

・学生優秀発表賞のエントリー方法等詳細は検討中である。
・学生旅費補助制度を実施する予定で検討中である。
・アルバイトも募集する予定である。

○イベントなど

・表彰式を 5 月 22 日(日)PM3 に展示場ホール特設会場で実施の予定である。
・ランチタイムスペシャルレクチャーは開催方法を検討中である。
・講習会(JpGU スーパーレッスン)を計画中である。オンラインを想定している。

- ・日本地質学会と共催で地質学露頭紹介を計画中である。
- ・オンライン交流場(oVice など)を設置予定である。
- ・他にも企画案があればご相談いただきたい。

10. 情報システム委員会活動報告(村山担当理事)

- ・情報システム委員会の活動報告があった。
- ・Google Workplace が委員会・セクションで利用できるのでは是非活用してほしい。
- ・2021 年 10 月より ORCID 日本コンソーシアムに加盟し、1 月 28 日にミーティングがあった。
- ・地球惑星科学員会地球惑星圏分科会の下にデータ関連小委員会を設置した。
- ・国会図書館による JpGU Web サイトの収集が開始された。過去の予稿のアーカイブについても状況を整理する。
- ・G7 科学大臣会合下のサブ WG の活動について紹介があった。

11. 教育検討委員会活動報告(阿部担当理事)

- ・教育検討委員会の活動報告があった。
- ・国際科学オリンピック実施状況について報告があった。
- ・2020 年に開催予定であったがコロナ禍のため延期された第 14 回国際地学オリンピックが 2021 年 8 月にオンライン開催された。
- ・同様に 2020 年開催予定であった第 17 回国際地理オリンピックが 2021 年 8 月に開催された。
- ・昨日、International workshop が開催された。

12. 広報普及委員会活動報告(橋担当理事)

- ・高校生のための冬休み講座 2021 として 12 月 25 日に「真鍋叔郎博士ノーベル物理学賞受賞記念講演会」を開催した。
- ・トップセミナーの開催準備をしている。
- ・JGL Vol/18-1 を発行準備している。
- ・Facebook の活動に関して、セクションに学生担当者の選出を打診し、これに関してご意見をいただいたので検討している。
- ・30 周年記念出版「地球・惑星・生命」の重版 1000 部の残部が 300 まで減っている。JpGU 2022 年大会で宣伝したい。

13. 環境災害対応委員会報告(奥村理事)

- ・奥村理事より環境災害対応委員会の活動報告があった。
- ・パブリックセッションの提案を行った。
- ・緊急セッションにも委員会として関与していきたい。

14. 顕彰委員会活動報告(中村担当理事)

- ・顕彰委員会の活動報告があった。
- ・今後表彰式の運営方法を検討する。

議長は以上をもって、すべての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。(午後 16 時 35 分)

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、本議事録を作成し、出席理事は次に記名・押印する。(捺印欄配布時省略)

2022 年 1 月 31 日

公益社団法人日本地球惑星科学連合 第 5 回理事会

出席理事	田近	英一	印
出席理事	川幡	穂高	印
出席理事	ウォリス	サイモン	印
出席理事	小口	千明	印
出席理事	高橋	幸弘	印
出席理事	道林	克禎	印
出席理事	日比谷	紀之	印
出席理事	浜野	洋三	印
出席理事	阿部	なつ江	印
出席理事	沖	大幹	印
出席理事	掛川	武	印
出席理事	木村	学	印
出席理事	中村	昭子	印

出席理事 西 弘嗣 印

出席理事 村山 泰啓 印

出席理事 吉田 尚弘 印

出席監事 春山 成子 印